

春闘 基本給も雇用も！ 第2回・第3回の団体交渉で実施を求めました

組合員のみなさん 春闘・定昇もベアもボーナスも！

本部は2月12日の申し入れに基づき、21日と27日に団体交渉を行いました。しかし会社は社員の苦労に応えることなく、誠意のない回答に終始しています。

ボーナスは当然満額を求めますが、特にベアはゼロが連続し、今後は定昇額も低くなっていきます。基本給は、超勤手当やボーナスの基礎となるためとても重要です。この基本給こそが毎月の手取り額と、年収に大きく関係する大切なポイントとなります。絶対に譲れない要求です。交渉を押し声を、大きく出しましょう。

組合員のみなさん 春闘・65歳までの雇用も！

私たちの要求は、基本給のアップだけではありません。消費税率アップを含め、現安倍政権による弱者への負担増が急激な流れとして押し寄せてきます。また、年金法と高齢者雇用安定法改正によって60歳以降の生活も大きく変わります。

現在、JR東海は60歳以降の専任社員の雇用と労働条件を設けています。したがって希望しても雇用されなかったり賃金も低額に抑えられています。これは継続雇用をしてほしいのなら、黙って言うとおりにしろという「命令と服従」を端的に表すものと言えます。会社の恣意で私たちの未来を決められてはたまりません。

私たち東海労は、新制度としての「専任V」の撤回も、今春闘の大きな要求としています。しかし会社は、「変更する考えはない」と回答しています。新設の「専任V」は業務内容も責任も据え置きで、賃金などの待遇は、これまでよりさらに低額とされます。しかも、老齢厚生年金の受給開始年齢までしか雇用されないというものです。最悪の場合は61歳までしか雇用されないのです。

組合員のみなさん 春闘・定昇もベアもボーナスも雇用も！

基本給もボーナスも「専任V」の撤回も譲れません。職場で苦労している私たちが、声を上げて要求を実現しましょう。そのために、他組合の皆さんにも、共にガマンはしないぞ！と言おうと声をかけましょう。